

分野	授業科目	単位（時間）	開講年次	講師名
専門基礎分野	病態治療論 I	1（30）	1年後期	外部講師 （実務経験あり）
科目目標	呼吸器、循環器、腎・泌尿器系の主要疾患、症状についての病態・検査・治療を理解し、看護に活用する。			
授業内容	〈呼吸器〉 1. 呼吸器系の構造と機能 2. 症状とその病態生理（喀痰、血痰・喀血、せき、胸痛、呼吸困難） 3. 検査（血液、喀痰、胸水、画像診断、内視鏡検査、生検、肺機能検査、ガス交換機能検査） 4. 治療・処置（吸入療法、酸素療法、人工呼吸療法、気道確保、胸腔ドレナージ、腹腔鏡下手術、呼吸器外科の手術） 5. 疾患（感染による気道・肺の炎症、気管支喘息、肺の腫瘍、急性・慢性の呼吸不全、呼吸機能の障害による循環機能への影響（肺性心））	時間	教育方法	担当者
	〈循環器〉 1. 循環器の構造と機能 2. 症状とその病態生理（浮腫、うっ血、胸痛など） 3. 検査（心電図、心エコー、心臓カテーテル法、血行動態モニタリング） 4. 治療・処置（薬物療法、心カテーテル治療、ペースメーカー治療、外科的治療） 5. 疾患（虚血性心疾患、心不全、血圧異常、不整脈、弁膜症、先天性心疾患、心筋症、動脈系疾患、静脈系疾患、高脂血症など）	10	講義	外部講師
	〈腎・泌尿器〉 1. 腎・泌尿器の構造と機能 2. 症状とその病態生理（尿の異常、排尿の異常、浮腫、水と電解質の異常、尿毒症、腫瘍） 3. 検査と治療・処置（尿検査、腎機能検査、X線検査・造影、エコー、CT・MRI、経尿道的操作及び内視鏡検査、生検、薬物療法、外科的療法、透析） 4. 疾患（腎不全、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、腎血管性病変、尿細管機能異常、尿路・性器の感染症、尿路結石症、腫瘍・ウィルムス腫瘍）	12	講義	外部講師
	試験・まとめ	8	講義	外部講師
テキスト/参考書/視聴覚/その他の教材	系統看護学講座 成人看護学（2）呼吸器（医学書院） （3）循環器（医学書院） （8）腎・泌尿器（医学書院）			
成績評価の方法	筆記試験 100点で評価する。 （呼吸器系35点、循環器系40点、腎・泌尿器系25点）			
備考				